

全10議案 付託審査内容の抜粋

湖南省職員との配偶者同行休業に関する条例の制定について

問 第1条関係の説明資料にある有為な職員

の判断基準は。

答 有為な職員の基準は人事の評価を参考に判断します。

問 第3条で3年以内の期間と定める理由は。

答 準則(基準となる条例)を参考に定めています。

全員賛成で可決

湖南省再生可能エネルギー発電設備管理基金条例の制定について

問 第2条の定める額の算出については。

答 平成29年度予算案では4万4千円を定める額と予定してあります。算出根拠として年間1千時間の発電が可能となり、年間発電電量1万5千kwのうち、

余剰電力が閉館日の週

2日間分、売電額を10円1銭と換算して4万4千円を想定しています。

問 対象となる施設は、

みくも地域人権福祉市民交流センターだけが、条例内で施設名を明確に定めない理由は。

答 今後の補助金により他施設も対象となる可能性があると考えたためです。

全員賛成で可決

湖南省事務分掌条例等の一部を改正する条例の制定について

問 市民環境部がなく

なることによる市民への影響は。

答 今回は部局の再編ですので、各課の大きな変更は考えていませんので市民への影響はないと考えます。

問 市民環境部の職務

分掌の振分けの根拠は。過去への再編も参考にし、総合政策部には

地方創生との関係性が深い新エネルギー・再生可能エネルギーの推進に関することを移管し、その他の部分を総務部への移管としました。

問 組織再編の狙いと

配慮すべき点は。

答 部局の効率化と迅速化です。また、業務量の増加により部長の職務範囲が広がるため、特命理事や管理監などの従来の役職も活用しながら人事的配慮を行います。

全員賛成で可決

変更契約の締結について

(仮称)吉永山手線道路新設工事

当初計画の東側搬入路は所有者の好意による無償の提供でしたが、所有者の建築計画から搬入路の確保が不可能となり、新たな西側搬入路確保のための工事

費として約1200万円の増。地盤改良でも含水量が想定より高く、従来の工法では不可能となり、セメントを噴射しながら掘り進めるパワーブレンダ工法を必要とすることで約2700万円の増。合わせて3925万4400円増の2億2814万2440円に変更契約するものです。

問 工事費の発生の原因と責任は。

答 事前準備として市が無償での了解をもらっていました。責任は市にあると考えますが、無償で借りる環境が原因のひとつであるかもしれません。

問 事前契約や覚書などの方法を用いて確認する必要性があったのでは。

答 今後はこのようなことのないよう対処します。

問 含水量が想定外と

なったのは左岸1か所(平成20年)、右岸1か所(平成27年)の7年間で2点というボーリング調査で判断していることが示すように調査の不足が原因ではないのか。

答 調査結果では問題がなかったが、実際に掘り起こさなければわからない部分があるため理解して頂きたい。

問 パワーブレンダ工法が特殊な工法であるなら新規契約すべきではないか。

答 新規契約を行った場合には諸経費を含め、現在よりも割高になると算出しています。

全員賛成で可決

旧慣使用権の廃止について

市道甲西駅美松線道路新設事業の事業用地のために平松区が有する旧慣使用権を廃止する

問 廃止の旧慣における従前の権利は何か。

答 土地管理に対する旧慣となります。

問 補償料を支払う法的な根拠は。

答 地方自治法第238条の6第1項に基づき従来どおり廃止します。条例では定められていません。

問 市収用価格の積算根拠、補償率90%の根拠は。

答 積算根拠としてため池が6300円/m、山林が3500円/mの鑑定が出ました。補償率は旧町の慣例に基づいて定めています。

問 旧慣使用権の廃止に対しては毎回、同じような質疑と検討するという回答があるがいつ対応するのか。

答 早急に取り組みます。

全員賛成で可決

全員賛成で可決